

「第1回地域営農ビジョン大賞」について

平成26年1月16日
全国農業協同組合中央会

1. 「地域営農ビジョン大賞」への取り組み決定

J Aグループは、農村地域の高齢化が進展するもとの、今後の担い手を確保・農地を農地として活用し、地域農業を次代へ継承していくため、農家が主体となって地域農業の将来像を描き実践していく「地域営農ビジョン策定・実践強化全国運動」に、人・農地プランと連携し取り組んできた。この一環として、優れた事例を顕彰、共有化することにより、さらなる運動の推進につなげることを目的に「地域営農ビジョン大賞」に取り組むこととした（25年2月）。

2. 1回全国審査委員会の開催と応募の実施

平成25年4月、第1回地域営農ビジョン大賞全国審査委員会＜委員長：谷口信和 東京農業大学教授＞を開催し、「地域営農ビジョン大賞」実施要領等について審議、25年4月～10月にかけて応募を行った。

3. 第2回全国審査委員会の開催と「大賞」の決定

平成25年11月28日、第2回審査委員会を開催し「大賞」候補の審査を行うとともに、「大賞」候補について12月中下旬に現地調査を実施、次の「大賞」を決定した。

「実践部門」：山形県山形市 村木沢あじさい営農組合

「支援部門」：長野県伊那市 上伊那農業協同組合

4. 第1回地域営農ビジョン全国研究大会の開催

（1）趣旨

担い手・農地対策等に優れた「地域営農ビジョン大賞」に学び「地域営農ビジョン策定・実践強化全国運動」の推進強化に資する目的で開催。大会の冒頭で「第1回地域営農ビジョン大賞表彰式」を執り行う。

（2）開催日時・場所

①平成26年1月30日（木）13時～31日（金）12時

②平河町「海運クラブ」2階ホール

（3）参加者

J Aグループ役職員約200名

以上

「第1回地域営農ビジョン大賞」受賞者の特徴

大賞 (実践部門)	<p>村木沢あじさい営農組合 山形県山形市 —集落を超え地域の農業をみんなで守る体制づくり—</p>
	<p>○中山間地帯も抱える地域にあって、1集落を超えた(11集落:農家380戸)営農組合を組織し、地域ぐるみで農業振興と豊かな地域づくりに取り組んでいる。営農面では、「担い手経営体」が中心となり、転作そば・大豆・小麦の団地化等に加え、伝統野菜等の園芸作物を積極的に導入し「多様な担い手」の活躍の場を作るとともに里芋を利用した加工品等による6次化への挑戦も行っている。</p> <p>○営農組合をベース(1階部分)に、25年4月、県内最大級の農事組合法人(2階部分:組合員246名)を設立、農の雇用事業等を活用しながら他産業から5名の雇用を確保、地域の担い手としての役割発揮が期待されている。営農組合は、地域営農ビジョンの作成主体として多様な農家の連携・協調をはかる場となっている。</p>
大賞 (支援部門)	<p>上伊那農業協同組合 長野県伊那市 —JA挙げた推進体制を構築しビジョンとプランを一体的に策定—</p>
	<p>○同JAは担い手・農地対策等で先進的な取り組みを行ってきたが、今回、ビジョン運動を推進するため、「JA上伊那地域農業振興ビジョン策定実践支援委員会」(委員長:JA組合長)を本所に立ち上げ、あわせて16ある支所ごとに、人・農地プランの地区割りに応じた「地区委員会」を設け、人・農地プラン策定と一体的なビジョンの策定支援に取り組んできた。</p> <p>○同地域は、行政とJA等関連団体で構成する「営農センター」(実務はJAが担っている)が地域農業の司令塔の役割を發揮しており、ビジョンとプランの策定支援についても十分な連携が図られてきた。また、ビジョン運動の展開にあたり、JAは全職員を集落へ配置、地域リーダーの支援や座談会の準備等の事務を担うとともに、JA生産販売計画、地域づくり等に関する提案・情報提供を行いビジョンの策定・実践支援を行っている。</p>

(実践部門)

	受賞組織名	所在地
優秀賞	農事組合法人 西善	群馬県前橋市
優秀賞	農事組合法人 グリーンコーポ麻生島	福井県大野市
優秀賞	JAおうみ富士ファーマーズ・マーケットおうみんち出荷協力会	滋賀県守山市
優秀賞	農事組合法人 ビレッジ影野	高知県高岡郡
優秀賞	大和みかん生産組合	佐賀県佐賀市

(支援部門)

	受賞組織名	所在地
優秀賞	花巻農業協同組合	岩手県花巻市
優秀賞	福光農業協同組合	富山県南砺市
優秀賞	西美濃農業協同組合(養老営農経済センター)	岐阜県大垣市
優秀賞	福岡嘉穂農業協同組合	福岡県飯塚市